

事務事業名		市民歩け歩け大会開催事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	市民体育係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生涯スポーツの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15030	一般	10	5	1	市民歩け歩け大会開催事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		講座・教室・イベント等開催事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長マニフェスト		3-14			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
<ul style="list-style-type: none"> 佐野、田沼、葛生の各方面から、徒歩で唐沢山頂を目指す。スポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供し健康増進、体力向上に寄与する。 佐野市レクリエーション協会との共催事業 頂上までの往復コース <ul style="list-style-type: none"> ①奈良瀨コース(こどもの国～、約10km) ②栃本コース(アリーナたぬま～ 約10km) ③京路戸コース(葛の里壱番館～ 約16km) ④富士コース(犬伏小～ 10km) 参加者負担金100円を徴取、事業費に充当(H26～) 「スポーツ振興基金」運用益を事業費に充当 			<ul style="list-style-type: none"> 開催準備：レク協との打合せ(3月、4月)、コースの下見、大会準備(4月中旬) 開催日：4月29日(祝) 参加者：266人(①奈良瀨コース117人、②栃本コース67人、③京路戸コース16人、④富士コース66人) 							
			会議開催回数	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			コース数	コース	4	4	4	4	4	
市民										
対象指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
人口			人	123,182	122,582	121,522				
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			市民スポーツの普及・発展の一環として、スポーツに親しみ健康な生活に寄与し、体力の向上・維持増進を図る。							
成果指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
参加者数			人	395	266	300	300	300		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
上位成果指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
週に1回以上スポーツ・レクリエーション親しんでいる市民の割合			%	40.7	40.6	40.0	42.0	45.0		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	80	84	30	30	30					
	一般財源	千円	0	1	109	109	109					
	事業費計(A)	千円	80	85	139	139	139					
	事業費の内訳	千円	報償費	30	30	30	30	30	30	30	30	30
			需用費	32	36	39	39	39	39	39	39	39
			役務費	18	19	70	70	70	70	70	70	70
			人件費									
人件費	人	5	5									
のべ業務時間	時間	100	120									
人件費計(B)	千円	389	473	0	0	0						
トータルコスト(A)+(B)	千円	469	558	139	139	139						

事務事業名	市民歩け歩け大会開催事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民体育係
-------	--------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧佐野市において、栃の葉国体を記念して開催されたのが始まった。事業開始年度不明。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	近年の健康ブームにより子供から大人まで幅広い参加者を得て開催している。H26 唐沢山が国指定史跡となったことで、市内外からの関心が増える。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	春先に開催されるため、新緑の唐沢山を登る良い機会であり、多くの参加者が満足している。参加賞の配布は受益者負担金を求めるべき。(H24 外部評価員) レクリエーション協会の事業へ移行すべき。(H24 外部評価員)

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
受益者負担の適正化	受益者負担として参加者より100円を徴取した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	歩くことにより市民の健康維持・増進が図れる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	健康づくりや仲間づくりに役立つ機会を設ける必要があるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	健康づくりや仲間づくりに役立つ機会を設ける必要があるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	現在の事務事業で十分に成果がでている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 ウォークラリー大会開催支援事業 歩け歩け大会は目的地まで歩くだけであるが、ウォークラリー大会はコマ図に従い途中のチェックポイントをこなしながら設定された時間にゴールを目指すもので内容が大きく異なる。したがって、統廃合・連携はできない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	レクリエーション協会やボランティアスタッフの協力を得て開催しているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	各種団体からの協賛金や協賛品により事業費の一部をまかなっているが、今後も継続してもらえるかわからないため。 H26から参加料(受益者負担金)を徴収済
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	スポーツ実施率の向上と市民1スポーツの推進を図るため事業終了はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業統合・連携 事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 参加料を事業費に充てることで経費の削減が図られる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			